

平成 28 年度防災減災・低炭素化自立分散型エネルギー設備等導入推進事業 事業概要書

1. 事業概要

実施主体	日吉津村	所在地	鳥取県西伯郡日吉津村大字日吉津 872-15
共同実施者			

2. 事業内容

事業名称	日吉津小学校太陽光発電・蓄電設備(防災拠点・省エネ)事業				
施設名	日吉津村立日吉津小学校				
導入設備	太陽光発電設備 10Kw、蓄電池 16.1Kwh				
平成 28 年度補助金交付決定額(総事業費)	29,124千円 (39,798千円)	実施期間	平成 29 年 1 月 ~ 29 年 10 月	事業完了後のCO2削減効果(見込)	6 t-CO2/年

太陽光発電設備 10Kw、蓄電池 16.1Kwh を新設し、平時はもとより災害時の停電時に、自立型の発電・蓄電設備により災害対策室として利用を可能とし、防災拠点機能を発揮させます。



イメージ

災害時には学校全体が防災拠点施設

平時	災害時
電力会社 ↓ 太陽光発電 ↓ 蓄電池	電力会社 ↓ 蓄電池 ↓ 太陽光発電 ↓ 蓄電池
役割 CO2削減 環境・防災学習 広報による普及促進	職員室(災害時 避難所対策室) 災害時に必要な機器への電力供給 天井灯、複合機、FAX、プリンター、電話、パソコン・携帯の充電、冷蔵庫等

3. 期待される効果等

普及効果・平時における役割	普及効果…本村では、環境基本計画により太陽光発電を主とした再生可能エネルギーの導入を図ることとしており、家庭での太陽光発電システムの導入に対し補助金制度を設け導入促進を図っています。事業完了後に、村ホームページ、村広報誌に自家発電・蓄電設備の整備により災害時でも自立可能な「防災拠点の整備」を図ったことを公表します。職員室前廊下壁にモニターを設置し、児童の環境学習、防災学習に活用します。また、参観日等保護者や地域住民が来校する際、環境・防災対応について分かり易い案内板を設置し広報することにより、各家庭での導入の一助となるよう取組みます。
防災減災面における役割	平時の役割…平時においては、小学校全体の CO2 削減につながることで、将来を担う児童の環境教育に資する施設となります。災害時の役割…防災拠点として、避難所対策室となる小学校職員室に太陽光発電と蓄電池の設備を導入し、災害時の非常電源として活用します。